

| | | | |
|-----------|--|-------|-------|
| 講義名 | 労働経済論 | | |
| 科目区分 | 学部フリーゾーン | | |
| 担当教員 | 丸山 亜希子 | | |
| 開講期・曜日・時限 | 後期 木曜日 3時限 | | |
| | 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / | | |
| 履修開始年次 | 2年生 | 単位数 | 2 |
| | | 講義コード | 43078 |

主題と概要

近年、日本の労働市場は大きく変化している。パートタイマー等の非正規社員が増加し、一方で働く女性が増え、正規社員については成果主義が導入され、従来の終身雇用制度を前提とした日本的雇用慣行は崩壊したと言われている。この講義では、日本の労働市場を経済学のツールを利用して分析し、そこから何らかの政策的含意を考える事を目的とする。

到達目標

経済学の観点から、労働市場の現状を的確に把握し、適切な政策を提言できることを目標とする。

提出課題

レポート、小テストを実施することがある。詳細は講義中に指示する。

評価の基準

平常点(小テスト、レポートなど) 20点
筆記試験(定期試験(持込み一切不可)) 80点

履修にあたっての注意・助言他

講義中の私語、遅刻・途中退室などの妨害行為、迷惑行為は厳禁とする。

教科書

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |

プリント資料及び参考文献

参考文献
「労働経済学入門」太田 聡一、橋木 俊昭 有斐閣
「労働経済学」大森 義明、日本評論社
「労働経済学入門」大竹文雄、日本経済新聞社

授業計画

1. イントロダクション、データでみる日本の労働市場(1)
2. データでみる日本の労働市場(2)
3. 賃金と雇用の決まり方(1)
4. 賃金と雇用の決まり方(2)
5. 賃金格差：なぜ人によって賃金は違うのか(1)
6. 賃金格差：なぜ人によって賃金は違うのか(2)
7. 学びと訓練(1)
8. 学びと訓練(2)
9. 日本の雇用慣行、内部労働市場
10. 人が仕事を辞める時
11. 離職と転職：労働市場の流動化(1)
12. 離職と転職：労働市場の流動化(2)
13. 失業(1)
14. 若者を働きやすくする(1)
15. 若者を働きやすくする(2)

予習・復習

予習は毎回、教科書の該当範囲よ読むこと(2～3時間)、
復習は毎回4～5時間ほど必要となる。
このほか、定期試験前にも復習が必要になる。

備考

| |
|--|
| |
| |
| |